

事務連絡
令和8年1月7日

各利用団体引率者様

千葉県立水郷小見川青少年自然の家
所長 小林 真一
(指定管理者: 小見川フィールズパートナーズ)

今冬の急性呼吸器感染症(ARI)※の感染拡大に備えた対応について(ご連絡)

厳寒の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素より、本所の運営に際しましては種々ご支援ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。
加えて、このたびは本所をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、標記の件について、厚生労働省、こども家庭庁及び文部科学省からの通知を受け、千葉県教育庁教育振興部生涯学習課から、感染症対策に努めるよう連絡がありました。

つきましては、以下に、皆様にお願いすること及び本所の取組を記しますので、ご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

1 参加者の体調の事前確認の徹底

入所の際に参加者の体調を確認させていただいておりますが、入所後(特に夜間)に発熱し保護者に迎えに来ていただくことがございます。当人はもとより保護者にとっても負担が大きいので、事前の体調確認を徹底し、優れない場合は参加を見合わせるよう指導することをお願いします。なお、インフルエンザの潜伏期間は「1から3日程度」、新型コロナウイルス感染症は「1から14日(平均5から6日)程度」とされています。

また、一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3~7日間は鼻や喉からウイルスを排出すると言われていることから、家族や学級でインフルエンザ等に感染している方の有無について確認することも必要です

2 手洗いと咳エチケット、換気の徹底

- ①入所時、外での活動の後、食事の前及びトイレの後に手洗いをするようご指導ください。
- ②咳やくしゃみが続いている場合は不織布製のマスク着用するようご指導ください。また、とっさに咳やくしゃみが出る時はハンカチや手、腕の内側で口と鼻を覆い、顔を他の人に向けないようご指導ください。なお、手で覆った場合は手を洗うようにご指導ください。
- ③宿泊室及び研修室等には、「常時換気設備(24時間換気システム)」を設置し稼動しています。加えて、室温の低下に注意しながら窓やドアを開けた換気をお願いします。
- ④手洗い場には石鹼及び消毒液を設置しています。

3 料理を取る際は会話を控える

配膳レーンから料理を取る際やご飯・汁をよそう際は、会話を控え飛沫が飛ばないようご指導ください。

4 体調不良を訴える者が出了場合の対応

①所にご連絡ください。当人を保健室もしくは他の宿泊室に移すか検討・指示します。また、当人と同じ部屋の者を他の宿泊室に移すかについても、併せて指示します。

②当人への対応・見守りは引率者にお願いします。特に、インフルエンザにかかった際は、異動行動を取った事例が報告されています。また、容態が急変するということもあり得ますので、必ず大人の方が見守るようにお願いします。

③保護者が、夜間正門及び玄関を閉める22時を過ぎて迎えに来る場合は、宿直者が開錠しますので、お申し出ください。

④帰宅後、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等への感染が確認されたら、所にご連絡くださるようお願いいたします。

5 本所員の感染症対策

①体調不良の場合は休むこととしています。また、体温が平熱を超えた場合はインフルエンザ等の検査を受けることとしています。

②マスクの着用は、咳やくしゃみが出るときは必須としていますが、それ以外は本人の判断としています。

③手洗い及び咳エチケットの遵守を徹底します。

本件について、ご不明な点がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

※急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection:ARI) とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支援、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。例えば、インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンザ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

【出所：「令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A」厚生労働省】